

公開シンポジウム

長良川河口堰の影響に関するモニタリング評価 応用生態工学特集を読む -

日 時：2003年2月7日（金） 会場：名古屋市桜華会館本館松の間
主 催：公開シンポジウム実行委員会
参加料：無料（先着130名）

開催趣旨

長良川河口堰は1960年代に建設構想が発表されて以来、多くの議論、長い補償交渉を経て1988年に堰本体の工事が開始された。その後も「地元住民以外の市民」に代表される層からの関心が高く、全国的な議論が続いたことは有名である。工事は7年をかけて完成し、河口堰は1995年7月から運用を開始した。同時に、予測程度以上の環境影響を回避しつつ堰本来の目的が達成されているか否かを検証するため、モニタリング調査が1期5年7月から2000年3月まで5年間行なわれた。

本シンポジウムは、会誌「応用生態工学」の5巻1号で企画された、モニタリング調査の特徴を明らかにした上で、現時点で分かったことを総括し、今後河口堰の生態系への影響評価をするために何が欠けているかを明らかにする特集「長良川河口堰の影響に関するモニタリング評価」を題材にして総合的な議論を行い、5年間にわたる大規模なモニタリング調査の結果と精度に関して、長良川河口堰に関心を持つ関係者の間に科学的な共通認識を作ることを目的としている。

この特集企画と時期を同じくして、科学研究費「長良川河口堰が汽水域生息場の特性に与えた影響に関する研究」（研究代表者玉井信行）が開始された。この研究班は河口堰における5年間のモニタリングについても分析を行うが、必ずしもそのみに留まらず、河口堰が汽水域環境に与えた影響を総合的に把握することを目的としている。また、特集号の執筆者と科学研究費の分担者は一部重複しているため、今回の公開シンポジウムにおいては、この両方の参加者に一堂に会して頂き、これまでに得られた科学的知見の総括を行うのが目的である。科学研究費の分担者の研究課題は特集記事で触れた関連分野にも及んでおり、より広範な範囲から特集記事を理解する基礎知識を得られるものと期待している。さらに、特集記事に関して議論をする場を持つことにより、個人として読むだけでなく、他の読者の見解を知り、双方向の議論を行ってより深い理解に達することが期待される。

また、この特集はモニタリング調査に関する事柄を対象を絞って議論する企画であり、生態系全体への影響、堰の操作法に関する議論、堰建設の評価などに関しては機会を別にすることが適していると考えている。本シンポジウムが今後これらの点への展開の契機になることを期待している。

なお、本シンポジウムは科学研究費「長良川河口堰が汽水域生息場の特性に与えた影響に関する研究」研究代表者玉井信行の分担研究者にも講演を依頼しており、科学研究費から一部財政援助を受けた。

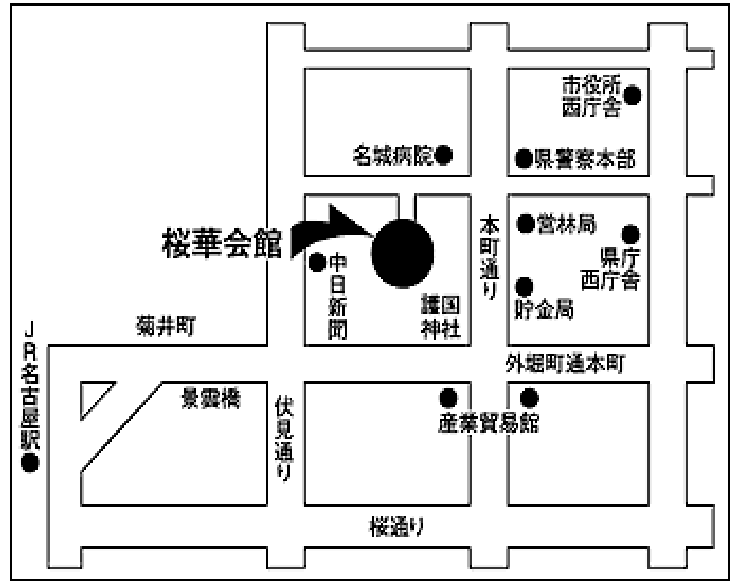
プログラム（予定）

- | | |
|---------------|---|
| 10:00 - 10:10 | 「特集の目標と総括」 玉井信行（金沢大学工学部教授） |
| 10:10 - 11:10 | 第1部 「モニタリングの企画と施設の管理」
発表：植田 剛史（国土交通省中部地方整備局河川調査官）
住谷 昌宏（水資源開発公団長良川河口堰管理事務所所長） |
| 11:10 - 12:10 | 第2部 「溶存酸素と潮汐、藻類」
発表：村上 哲生（名古屋女子大学家政学部助教授）
中村 由行（港湾空港技術研究所海洋・水工部） |
| 12:10 - 13:10 | 昼食 |
| 13:10 - 14:10 | 第3部 「河床の変化と流れ、水門操作と流れ」
発表：藤田裕一郎（岐阜大学工学部教授）
有田 正光（東京電機大学理工学部教授） |
| 14:10 - 15:40 | 第4部 「二枚貝、底生動物、魚類の生態」
発表：山内 克典（岐阜大学教育学部理科教育講座（生物学）教授）
竹門 康弘・新村安雄（京都大学防災研究所助教授・ツツミ研究会代表）
小出水規行（独立行政法人農業工学研究所主任研究官） |
| 15:40 - 16:00 | 休憩 |
| 16:00 - 17:00 | 第5部 「水生植物、植生」
発表：國井 秀伸（島根大学汽水域研究センター教授）
大野 啓一（横浜国立大学環境科学研究センター助教授） |
| 17:00 - 18:00 | 第6部 総合討論
<パネラー>： 未定 |

会場案内：

所在地：〒460 - 0001
名古屋市中区三の丸一丁目7番2号
TEL：(052) 201-8076・8077
FAX：(052) 222-8958
交通：市バス「外堀町通本町」下車
地下鉄「市役所」下車徒歩5分

会場地図



実行委員会（予定）

- (委員長) 玉井信行 (金沢大学)
- 竹門康弘 (京都大学)
- 谷田一三 (大阪府立大学)
- 角野康郎 (神戸大学)
- 辻本哲郎 (名古屋大学)
- 國井秀伸 (島根大学)

申し込み要領

下記の申し込み用紙にてお申し込みください。同等の E-mail でも受け付けます。

【申し込み及び問い合わせ先】

応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 第7麹町ビル25号室
TEL: 03-5216-8401 FAX: 03-5216-8520
E-mail: see@blue.ocn.ne.jp URL: <http://www.ecesj.com>

【申し込み期限】

2003年(平成15年)1月31日(金)

参加申込書 (FAX宛先: 03 - 5216 - 8520 / 応用生態工学会事務局)

下記の通り参加申込みいたします。

申込み月日： 年 月 日

氏名	(専門分野：)	正・学生会員 No.	
所属		賛助会員 No.	
連絡先	所属 ・ 自宅 (いずれかに) 〒 住所： Tel. Fax. E-mail：		